



創立平成22年9月16日

令和元年度(2019年度) 会長 後藤 紀之 幹事 宮地 公平 << クラブ第10年度 第9号 >>

理事 会

- * 3月5日 3月の理事会・例会を中止
- * 3月11日 WHO 新型コロナウイルス (以下 COVIT-19) のパンデミックを宣言
- * 4月2日 4月の理事会・例会の中止、3月配布予定のプロバスだより・会長コメントを全会員に送付。
- * 4月7日 COVIT-19 感染症緊急事態宣言 (4/7~5/6)
- * 5月4日 COVIT-19 感染症緊急事態宣言の延長 (5/31まで)
- * 5月7日 5月~6月、業務の大綱決定
 - ・ 5月、理事会・例会の中止
 - ・ 6月、理事会・例会の中止、文書による定期総会実施
 - ・ プロバスだより 113号 (年度最終号) 発刊、
 - ・ 10周年記念事業 : 部外講演 中止、式典 延期、記念誌 年度内作成
 - ・ 令和元年度定期総会議案書、4役会に委任
- * 5月16日 次期全日本プロバス協議会理事に、山本英次会員を推挙
- * 6月11日 定期総会議案書・プロバスだより、全会員に郵送 (予定)
- * 6月18日~ 1号議案議決確認 (予定)

会長挨拶

後藤 紀之 会長



「新型コロナウイルスによる外出自粛それに続く緊急事態宣言の発令により、3月後半から現在 (5/20) に至るまで例会等を含む当クラブの行事および関連するイベント等が全て中止となってしまいました。6月も又、高幡不動尊は使用で

きない状況ですので、今年度最終月の例会及び定期総会も中止せざるを得ない状況になってしまいました。

東京についてはまだ緊急事態宣言は解除されませんが、少しずつ収束への兆しも見えてきたようです。6月の例会で皆様と一堂に会することは出来ませんでした。総会の議題である来年度の人事案については各理事を始め、皆様方のご協力により4役一任ということになり、お陰様で今年度の任期を全うさせて頂くことになりそうです。

幸い当クラブから感染者は出ておりませんが、会員の中には体調を崩されて入院された方もいらっしゃいました。このコロナ騒動は緊急事態宣言が解除されても2

次感染、3次感染と注意する必要があるとのことですので、私たちの生活様式や例会等のやり方も今までとは少し違ったものになるかもしれません。

悲観的なことばかりでしたが、来年度は全日本プロバス協議会から再三依頼のありました全日本の理事就任につきまして、4役会・理事会の賛同を得て山本元会長を推薦することとなりました。後藤一郎元会長につぐ二人目となります。東京日野プロバスクラブの発展に繋がることを期待致しております。

まだまだ不自由な生活を強いられる事と思いますが、皆様くれぐれもお体ご自愛下さい。

1日も早く皆様とお会いできる日を楽しみにしております。大した活動も出来ませんでした。1年間有難うございました。

幹事報告

宮地 公平 幹事

今年の2月当初、武漢風邪インフルエンザの一種と軽く見ていましたが、これが世界を巻き込むパンデミックとなりました。

元年度後期の活動は、緊急事態宣言の中、多くの事業は実施できず、3月~6月の例会は中止となりました。残る活動は文書による定期総会のみです。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

まだまだ先は見えませんが、新型コロナの一刻も早い収束を祈念いたします。令和元年度、会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。有難うございました。



委員会 報告

〇例会委員会

保母 錠治 委員長

皆様、お変わりはありませんでしょうか。適切な健康管理のもと大過なくお過ごしのことと存じます。感染問題は、収まりつつあるのではと期待はしておりますが、依然、先の見えない状況が続いております。報道も、感染状況の推移の繰り返し、政府の対応の不手際などに終始し、前向きな知らせはないものではないでしょうか。やっと例のマスクも届きましたが笑い話になりそうです。もどかしい日々を過ごしておりますが、「希望」をもって、出来ることをしっかりやろうと思っております。



す。「新しい生活様式」といえば大げさになりますが、我が家の取り組みをご紹介します。

- ・外出後の消毒、手洗い、洗顔、うがいの励行。
- ・体温、血圧、脈拍の測定と記録。
- ・買物は、夫婦交代で実施する。
- ・食事は離れた場所ですと、これは感染予防だけの理由ではないかも？

こんなことをしながら、夫婦で体調の変化について確認をしております。

話は変わりプロバスの運営ですが、集まりができない中、年度替わりの引継ぎもあり、工夫をしながら運営が滞ることのないよう尽力しております。この状況で得た経験は、より強いクラブ運営につながるものと信じております。

皆様方には、何かとご不便をお掛け致しますが、ご理解と、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。一日も早く、この状況が終息に向かい元気にお会いできることを楽しみにしております。

○地域奉仕委員会 黒澤 直明 委員長

今年度は、予想だにしない新型コロナウイルス禍により、年度後半の3月28日に予定をしていた「日野よさこいまつり」をはじめ4月の「浅川クリーン作戦」、5月の「新選組祭り」等が中止となりました。

昨年11月22・23日に予定していた「たかはたもみじ灯路」も両日とも雨天に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、多数の会員の方のご協力で、翌24日になんとか実行できました。ありがとうございました。

次年度以降も全員参加で協力していきたいと思っております。

○情報委員会 大島 芳幸 委員長

昨年7月の例会報告である105号を発行して以降、今年2月の例会時の「プロバスだより」112号を3月例会中止により、4月に発行し、今号が今年度9回目となり、最終号となりました。

未曾有の災害に見舞われたこととはいえ、情報委員会として、会員の皆様の近況等の情報をより多く発信できなかったことが残念に思われます。

次年度以降も充実した誌面作成に努めてまいります。

一年間ご協力ありがとうございました。

○会員委員会 仲村房次郎 委員長

今年度は、大田 健 氏が入会されました。

また、澤田会員の紹介で次年度に、五加 治 氏が入会予定です。

初めて会員委員長を拝命しましたが、居住地が横浜であるために日野地域に知合いもなく、十分な活動ができず残念な思いです、

この度は新型コロナウイルス感染症のために大変な世の中になりましたが、次年度以降は、我々プロバスクラブの全会員の健康管理表を作成し、

- ① 出席者の体温・体調管理の記録
- ② 欠席者の体調報告・記録
- ③ 入室時のアルコール消毒 などを提言します。

私が以前に経営していた食品加工の会社では、2003年のサーズ発生以来、従業員各自の健康チェック表を作成し健康管理を行っており、自身もリタイアした現在も続けております。

○研修委員会 澤田 研二 委員長

今年度は、①令和元年9月15(木)当山の杉田純一貫主に卓話「十善会とは」和願愛語接することの大切さを披露いただき

②令和元年10月17日には日野市の大坪冬彦市長に「日野市の財政と今後の課題について」と題した講演をしていただきました。

④ 令和元年11月26日(火)には研修会を日野市内の「新選組史跡巡り」を13名の参加でマイクロバスを貸し切って専門ガイドの案内付きで、日野市内7ヶ所、町田の小島資料館を見学し、参加者には大変満足いく研修内容でした。

3月以降には市ヶ谷の自衛隊本部見学を予定しておりましたが、新型コロナウイルス禍の影響もあり、断念した次第です。今年度もご協力ありがとうございました。

○吹き矢事業 林 良健 参与

吹き矢事業は、”吹き矢“を通じて……

① 社会福祉法人日野市社会福祉協議会・日野市ボランティア・センターへ『ボランティア協力者』として登録し、元気シニア活動の場づくりに貢献する。

② 日野市子ども部子育て課「放課後子ども教室」に「学び・躰・あそび」の要素を取り入れた”吹き矢“を実施し”ひのっち“を支援することを目的にスタートしました。

1. 今年度活動実績

社会福祉法人日野市社会福祉協議会 日野市ボランティアセンターへ『ボランティア協力者』として登録し、活動開始。

*自治体関連 (34名)

◇えびす会(7/15:9名、9/16:8名、10/7:8名、11/18:9名)

*地域関連 (63名)

◇緑ヶ丘サロン「談笑縁」(7/16:24名)

◇ふれあいサロン縁がわ(7/23:20名)

◇日野台サロン「にこにこカフェ」(8/14:19名)

*教育関連 (309名)

◇滝合小(9/18:19名、11/20:18名、1/15:21名)

◇南平小(7/18:21名、9/20:24名、11/29:21名、12/20:14名、1/31:18名、2/21:18名)

◇旭が丘小学校(7/17:35名、10/16:23名、12/18:18名、2*19:28名)

◇豊田小学校(10/9:31名)

2. 今年度の総括、感想

今年度の、シニア活動への支援は7回(34名)、放課後子ども教室支援14回(309名)の実績ですが、実際に活動に参加する方々は、限定されて、わずか6

名です。活動目的（会則、運営細目）である『地域に貢献する』ことの、ベクトル合わせが出来ていません。

3. 次年度に期待すること

次年度は、地域奉仕委員会の活動として、初心に返り東京日野プロバスの地域活動の柱にしていきます。

○ゴルフ同好会

小島 康義 会長

*令和元年7月10日相武CCにて
第15回日野PCコンペ開催。

優勝は後藤一郎会員！

*9月26日は武蔵野GCで日野3
クラブ合同コンペ開催。優勝は
小島 康義会長

*11月8日、日野3クラブ合同コン
ペをGMGにて開催小島会長の連続優勝!!

*3月27日河口湖CCでの独自第16回コンペ⇒中止

*4月24日塩山CCでの日野3クラブ
合同コンペ⇒中止

*5月22日 3プロバスコンペGMG八王子⇒中止

《今後の活動予定》

9月～11月の間に、中止となっている各コンペを開催予定。場所は、相武CC、長竹CC、河口湖CC等。同好会会員の皆様のリクエスト受付中！



○麻雀同好会

村上 光 会長

令和元年7月より発足、下記要領にて定例会を開催してきました。

1. 定例会開催日： 毎月第3火曜日

2. 会員数17名（敬称略：魚住徹、大島芳幸、奥修兵、黒澤直明、小島馨、小島康義、後藤紀之、澤田研二、田村豊章、泊谷時男、保母錠治、本部皓介、村上光、矢野凱弓、山本英次、鷺尾昭夫、渡辺明）

3. 定例会開催場所： 豊田、麻雀グリーン

4. 定例会記録：

第1回2019年7月16日、参加人数12名

優勝 奥修平、2位 渡辺明、3位 矢野凱弓。

第2回2019年8月20日、参加人数10名、

優勝 村上光、2位 矢野凱弓、3位 小島馨。

第3回2019年9月17日、参加人数8名、

優勝 奥修平、2位 澤田研二、3位 保母錠治。

第4回2019年10月15日、参加人数5名、

優勝 保母錠治、2位 奥修平、3位 本部皓介。

第5回2019年12月17日、参加人数8名、

優勝 矢野凱弓、2位 澤田研二、3位 黒澤直明。

第6回2020年2月4日、参加人数12名、

優勝 澤田研二、2位 保母錠治、3位 村上光。

2020年3月以降はコロナ禍自粛規制により休会。

5. 今後の活動再開見通しはコロナ禍終息状況次第ではありますが、麻雀荘は環境良しとは言えず再開時期判断には慎重な上にも慎重な検討が必要と思われます。

《10周年記念事業委員長 後藤 一郎 会員》

前掲の理事会決定通り、講演会は中止、式典・祝賀会は延期とし、時期及び内容については状況に応じて再検討することになりました。

10周年記念誌は発行します。発行時期は10年の実績を出来るだけ収録したいと考えています。なお、皆様には以下の要領で原稿をいただき、会員紹介ページに寄せていただきます。

《10周年記念誌担当委員 小西 弘純 会員》

昨年度より会員全員の皆様にご協力いただき、創立10周年記念誌は順調に推移しております。

皆様に報告致しました通り、令和元年度は令和2年6月迄に第1段階として記念式典前に出来ることとして目標を掲げ記念誌のページ構成に始まり、各年度の活動実績等の頁を完成すると云う事で目標通りに出来上がり、現四役プラス次年度役員に途中経過として一冊ずつ配布させて頂き、ご意見を頂こうと思っています。

次年度、令和2年7月の新年度に入りましたら、会員全員の皆様に原稿テーマは3つ、

① 「プロバスと私」

② 「10周年にあたって」

③ 「テーマなし・“自由”」

を260字位で締め切り7月末日でお願い致します。

8月から皆様の原稿に従い、版を作り8月中には第2段階が終わり、9月には10周年実行委員会の皆様に配布、皆様のご意見を伺うことになると思います。あとは記念式典・祝賀会が終わってからの作業となります。

この記念誌は、東京日野プロバスクラブ会員全員が総力を挙げて創立10周年記念式典を作り上げるための一つのクラブ活動と捉え、皆様にはご協力の程よろしくお願い致します。

短歌（投稿者：宮地公平 幹事）

《2020コロナ5首》

*50日外出控え顔合わす ステイホームに不吉な予感

*重篤で1割死ぬとささやかれ 老いた夫婦に衝撃走る

*久しぶりやむなくつけるTVに 韓国ドラマいまだ健在

*パソコンに向かい座って6時間 腰に激痛死の金縛り

*繋がるか不安交りの在宅会議 初体験もコロナの土産

《春3首》

*菜の花を 揺らす春風追いながら水面眩しき浅川を行く

*春雷や 木々の若葉は競合い 千の緑はしたたるばかり

*紫陽花の藍の染み入る花雫 静かに落ちて石仏の肩

当クラブ初代会長 篠原 昭雄会員



東京日野プロバスクラブが創立して十年、それを振り返ると「頻発する災害」という印象が色濃く脳裏に浮かびます。中でも社会を変えるほどの大災害は、東日本大震災とこの度の新型コロナウイルス感染の拡大です。

この十年のグローバル化は破格のスピードで進展し、同様に深刻化した地球温暖化に起因する自然災害が引き金となって毎年繰り返されました。まず、クラブ創立して間もない2011年（平成23年）3月11日、巨大地震と津波が東日本東岸を襲い、未曾有の大惨事をもたらし、これが社会を変える起因となって復興・支援の“絆”が生まれました。

社会貢献を活動の柱とする日野プロバスクラブも街頭基金や支援基金の設立など様々な支援を展開しました。その後も地震・台風・洪水・土砂崩れなどの災害が頻発し昨年の台風20号まで年々続きました。

そしてこの度の新型コロナウイルス感染の拡大による大惨事です。これは、これまでの一過性の災害とは異なり、規模・期間が広範・長期に亘り、個人の生命・生活や社会・国家の多方面の活動に多大のリスクや影響を及ぼしています。この度の事象は、グローバル化の負の側面が表れたもので、人やモノ・カネ・文化・技術だけでなく、ウイルスも世界中を行き交い、飛び回る情報も社会の混乱に増幅され、人々の不安や社会に難関も更に深まっています。以



高幡不動尊境内の紫陽花 (山本英二会員提供)

「楽しいクラブを目指して」 副幹事 渡辺 明会員

今期のクラブ活動は、表題の「楽しいクラブを目指して」を心に誓いながらスタートしましたが、スタート直後身体に異常が発見され、かかりつけの医院で点滴を受けて正常に戻る等を何度か繰り返し、精密検査の結果、胆管結石と判明し多摩永山の病院に入院内視鏡で取れず、再度入院手術又、その後他の病気が判明と6ヶ月の間に3度の入院、3度目の入院時はコロナウイルス関連にて隔離状態で散々な状態で家族との面会謝絶で、担当医師に無理を言って退院させて頂きました。

入院の間は、皆様のご協力によりなんとか会計（副幹事）の仕事は継続ができましたが、3月7日退院後はコロナウイルス関連で理事会及び例会の中止、その間の定期検診ではコロナ感染者の入院に遭遇し、貴重な体験（その時はヤバイと感じた）を経験いたしました。

それ以降は理事会、例会は中止（4～6月）で6月まで来てしまいましたが。来期も役員会に残りますので、表題の「楽しいクラブを目指して」を継続し、皆さまがクラブを通して楽しくクラブ活動ができる環境作りと会員の皆さまが何を望んでいる等の、アンケートを実施しながら、例会が早く来ないか、例会に早く行きたい、参加したい、と言う活動を目指して行きたいと思っておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶 矢野 凱弓 副会長



通常でしたら5月21日例会の閉会挨拶が載るところですが、コロナ禍により3月以降6月までのプロバス会合は全て中止を余儀なくされています。会長、副会長、幹事、副幹事の4役は、少人数でもありますので、イオンモールで会合、あるいは在宅のままライン活用による電話リモート会議により、毎月の理事会に諮る諸案件を討議しています。宮地幹事の音頭取りで、5月7日と16日に行われたライン会議は初体験で印象深いものでした。やれば我々シニアでも出来るのだな、と心強く感じました。それにしても、この事態が早く収束し、皆さまと笑顔でお会いしたいと強く祈念しています。(5月30日記)

編集発行 東京日野プロバスクラブ 情報委員会 大島芳幸、小西弘純、篠原昭雄、山本英次、 疋田久武 本部 皓允 小林昭治 ホームページ：<https://www.hinopc.com>



※小西情報副委員長にQRコードを作成していただきました！ ご活用ください。 ※掲載写真は、撮りためたものを使用しています。